

## タブレットを活用した遠隔授業までの一連の活動と学習評価 (NEW HORIZON English Course1 Unit2 Our New Teacher)

①話・や

①統合

②協・遠

②評価

③タブ

### 【ここがポイント！】

#### 「一人一台のタブレットの効果的な利用」

一人一台のタブレットを用いて個別に他校の生徒と交流する機会を設けることで、自己紹介と相手とのやり取りをする活動を行う必然性を持たせることができる。また、一人一人の活動の場を保障することもできる。

### 【実践の目標】

相手に自分のことが伝わるように、自己紹介の内容を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

### 【実際の場面】

#### 1. ALTによる自己紹介のモデル

ALTによる自己紹介のモデルを聞いて内容を理解した後、そのプレゼンテーションを参考にペアで自己紹介の練習をした。

#### 2. 自己紹介文の構成を考える

モデル文を参考に、自己紹介文の構成を考えて作文した。

#### 3. ペアでお互いの紹介文を読み合う

自己紹介について生徒同士で相互評価した。

#### 4. 紹介文を見直し、加筆修正を行う

小グループで、再度評価し合った。相手に自分のことが伝わるように紹介文の内容について生徒同士で互いに助言をした。小グループで分かれる時に、個別にタブレットの接続確認を行った。

#### 5. 遠隔授業

千代田中学校との遠隔授業を行い、個別に自己紹介をし合った。また、相手の話した内容に合わせて質問したり、相手の質問に答えたりした。

#### 6. 遠隔交流

姉妹校となったオーストラリアの学校との一斉交流授業を行った。テレビモニターにて交流した。

#### 7. パフォーマンステスト

後日、ALTとのインタビューテストを実施した。その会話の様子を撮影し、指導者が評価した。

### 【成果と課題】

#### 【成果】

- 一人一台のタブレットでの活動を設定できたことで、「自分が伝えなければいけない」という必然性を持たせ、すべての生徒に活動を行わせることができた。
- これまで活動に消極的だった生徒に自信が付き、次の活動に対するモチベーションの向上につながった。

#### 【課題】

- 通信環境が整っていないと実施することは難しい。さらに、機器のトラブルが発生した場合、時間内に修正できるように、教師自身が対応できるようにする必要がある。

### 安芸太田町立安芸太田中学校

